

誰もが住み続けたい・住んでみたい・行ってみたいと思える、

未来につなげる”強くてしなやかな”地域づくり計画

(焼津市国土強靱化地域計画)(案)に対する意見募集について

「誰もが住み続けたい・住んでみたい・行ってみたいと思える、未来につなげる”強くてしなやかな”地域づくり計画(焼津市国土強靱化地域計画)(案)」について、意見募集を実施した結果については、以下のとおりです。貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。

1 実施期間

平成 29 年 4 月 3 日(月)から平成 29 年 5 月 2 日(火)まで

2 意見数(意見提出者数)

1 件(1 名)

3 提出意見と市の考え方

1 件のご意見をいただきましたが、誰もが住み続けたい・住んでみたい・行ってみたいと思える、未来につなげる”強くてしなやかな”地域づくり計画(焼津市国土強靱化地域計画)案の修正を行ったものではありません。

ご提出いただいたご意見の要旨とそれに対する市の考え方は、別紙のとおりです。

誰もが住み続けたい・住んでみたい・行ってみたいと思える、未来につなげる”強くてしなやかな”地域  
 づくり計画(焼津市国土強靱化地域計画)(案)に関するパブリックコメントに寄せられた意見及び市の考え方

No.	意見要約	市の考え方
1	<p>●人災からの防護（浜岡原発の防護）</p> <p>浜岡原発の放射能漏れ、拡散を防ぐ対策を取らなければいけません。</p> <p>放射能漏れを起こす要因は津波だけではなく、水は一方向だけでなく、下（地面）からも上（天）からも降ってきます。</p> <p>上空からは爆弾も考えられ、通常の爆弾（ミサイル）でさえもが原子力爆弾化となり、竜巻やテロも考えられる。</p> <p>いろんなことを想定すると原子炉設置部分を最低限地下か、厚い防空壕の中に造り直せば防げ、万一放射能漏れが起こってもシャットダウンできるのではと思います。（廃炉の場合でも。）そうすればみんな安心して住むことができると思います。</p> <p>事故が発生したら漁業、農業は全滅です。人の生命はもちろんです。事故が起こった後想定外とか言って被害の処理にお金を使っても手遅れで無駄金です。</p> <p>上記の方法以外別の方法として下記の考えも1つです。</p> <p>原子力以外で電気を考える方法です。</p> <p>その1つとして企業も個人（太陽光）も官公庁（ゴミ焼却熱利用）も自家発電を考えるのも一つです。</p> <p>焼津市として考え提言し実施できればと思います。</p>	<p>本計画（案）において、地震・津波災害を原因として原子力災害が発生する可能性も考慮し、地域住民の被ばくの低減を図るため、避難体制の確立や原子力防災資機材の整備など、原子力防災対策の推進を方針としております。</p> <p>浜岡原子力発電所における安全確保については、大きな課題であることから、主体となる国及び静岡県と連携して進めてまいります。</p> <p>また、エネルギー政策においては、今後の国の動向を注視してまいりたいと考えております。</p>